



中村さと美 (公明党) 学校教育における諸課題

**質問** 不登校対策として校内教育支援センターの拡充が重要と考えるが、本市での設置状況は。またフリースクールに通う家庭への経済的支援は。

**答弁** 本市では本年度から小学校4校、中学校6校に校内教育支援センターの設置または設置の準備を進めており、学校支援員の配置や授業配信用端末の配備などを支援している。フリースクールに通う家庭への経済的支援については現時点では検討していないが、他自治体の状況等を踏まえて、今後研究していきたい。

**質問** 市営住宅の共益費の徴収・管理を市で行う考えは。

**答弁** 共益費は団地や棟ごとに金額が異なることや、徴収方法、滞納対策などの課題もあるため、引き続き管理人による共益費の管理が円滑に進むよう支援していくとともに、他自治体の取り組みなどを参考に研究していく。



林恒徳 (市民クラブ) 保育士、看護師の確保

**質問** 本市が実施している看護師確保の取り組みは。

**答弁** 看護師就職促進事業として看護師を目指す学生や潜在看護職員へのバスツアーを実施し、病院見学や就職ガイダンスを行っているほか、子育てなんでもセンターがある多機能型住居に優先的に入居できる取り組みを行っている。さらに、令和5年度からは分娩を行う産科の医療機関に対し、人材確保や処遇改善を行うための助成を実施している。

**質問** 引き取り手のない遺骨が増加傾向にある中、本市での対応方法と現状は。

**答弁** 本市で身寄りのない方が亡くなった場合などは、市で必要な調査を実施し、死亡の届出および火葬等の手続きを行っている。市が火葬を行った件数は令和元年度11件、5年度27件で、納骨を行った件数は元年度6件、5年度25件となっている。



堀口順 (市民クラブ) 農林政策

**質問** 鼻高展望花の丘は県内外から観光客が訪れる観光地であるが、イベント時には周辺の交通に支障を来し、大渋滞となる。周辺整備を含めた今後の道路整備の取り組みは。

**答弁** 鼻高展望花の丘は、大型バスなどによる団体の来場も多いことから、渋滞解消や大型車両の通行と歩行者の安全を確保するため、市道鼻高上之原線の道路拡幅事業を進めている。必要な用地の確保は完了しており、今年度も継続して道路拡張工事を進める予定で、早期完成に向けて取り組んでいきたい。

**質問** 子どもに対する性犯罪が問題視されているが、本市の学校・園で日本版DBSの制度を導入する考えは。

**答弁** 児童・生徒が安心・安全に学校生活を送る上で必要な対策と考えるが、導入等については、今後国の指針等を踏まえながら研究したい。



荒木征二 (たかさぎ未来) 市職員の処遇と待遇

**質問** 本市の女性職員のジョブローテーションの現状は。

**答弁** 本市の部署別の女性職員の割合は、総務・企画部門が中心の総務部が26・8%であるのに対し、市民対応が中心の市民部は50・7%となっている。今後も、これまで女性職員の配置が少なかった部署への積極的な配置など、男女の偏りのないジョブローテーションの推進に努めたい。

**質問** パート勤務者における扶養の範囲内での勤務の問題について、本市での現状は。

**答弁** 近年の賃上げの影響で時給が上昇している一方、扶養の範囲内で勤務することを希望する場合、月の勤務日数を制限せざるを得ない問題が発生している。例えば、1日の勤務時間が4時間の保育士については月18日、1日の勤務時間が5・5時間の学校図書館指導員については月16日を上限としている。

オオキンケイギク

北米原産の多年草で、5月から7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせる。かつては工事の際の法面緑化などに利用されたこともあり、苗も販売されていたが、繁殖力が強く在来の野草を脅かし生態系に悪影響を及ぼすことが分かったため、平成18年に特定外来生物に指定された。



第4種踏切道

踏切があることを示す警標だけが設置され、列車の接近を知らせる警報機や自動遮断機が設置されていない踏切道。



金子和幸 (日本共産党) 来年度から始まる学校給食の一部無償化

**質問** 令和7年度から、本市も学校給食費の一部無償化に向けた取り組みが始まるが、既に県内の6割、21の市町村で学校給食費の完全無償化が行われている。今後本市でも完全無償化に取り組む考えは。

**答弁** 給食費の無償化は、国の責任において全国的に取り組むべきものと考えており、全面無償化については国の動向を注視したいと考えている。  
**質問** 学校給食が自校方式になっていない現在の学校数は。また、給食センターの数とその築年数、老朽化の程度は。

**答弁** 自校方式ではない所は、幼稚園3園、小学校14校、中学校4校となっている。学校給食センターは3施設で、建築後おおむね25年から40年経過している。専門業者による法定点検などに基づき、適切な時期に必要な修繕をすること、安心・安全な施設の維持管理に努めている。



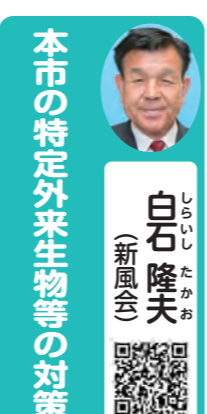
樋口哲郎 (新風会) 物価高騰対策

**質問** 農業資材、肥料等の高騰に対する本市の対応は。

**答弁** 本市では物価高騰対策として、農産物出荷農家に対する1件当たり10万円の支援、認定農業者および認定新規就農者に対する1件当たり20万円の支援など、これまでに計4回、総額3億5344万円の支援を実施している。

**質問** 吉井地域の文化・スポーツ施設のトイレの洋式化の状況と、牛伏山第2駐車場のトイレの改修の計画は。

**答弁** 吉井西運動公園と吉井プールではトイレの洋式化を実施しており、令和5年に供用開始した吉井中央公園は全洋式トイレである。吉井文化会館については、平成30年度に洋式の多目的トイレを新設しており、今後も会館内のトイレの洋式化を検討したい。また、牛伏山のさらなる集客増を見込み、牛伏山第2駐車場のトイレの改修を進めたい。



白石隆夫 (新風会) 本市の特定外来生物等の対策

**質問** 生態系に悪影響があり、特定外来生物でもあるオオキンケイギクへの対応は。

**答弁** 本市では河川敷や国道、県道の路側帯での生息が多く確認されており、管理者である国や県に要請し、防除してきた。市有施設では所管課を通じて防除を行っており、民有地では必要に応じて所有者等に対し正しい情報を伝え、周囲への影響について理解を求め防除の要請をしている。

**質問** クビアカツヤカミキリによる果樹農家の被害状況とその対策は。

**答弁** 令和5年度末までに262本の果樹が被害を受けており、本市では全果樹農家への薬剤の配布、生産部会への専用ネットの配布などの支援を行ってきた。本年度はこれらに加え、高崎モデルとして被害樹の伐採・処理費の全額負担、防除対策用資材の導入、改植費用の支援を行う。



高橋淳 (新風会) 第4種踏切道の今後の対策

**質問** 第4種踏切道の現状とこれからの対応方針は。

**答弁** 市内の第4種踏切道はいずれも上信電鉄沿線で、高崎地域に10カ所、吉井地域に11カ所の計21カ所存在する。本市で発生した第4種踏切道での死亡事故を受け、人命に関わる問題として速やかな対応が必要であると認識している。市内21カ所の第4種踏切道は、地元で廃止の合意が得られた場合を除き、第1種踏切道への改良を基本方針とし、上信電鉄の費用負担を市が支援することで、来年度から5カ年計画で取り組んでいく。

**質問** 小・中学校としての危険箇所の把握方法は。

**答弁** 各学校では教職員や地域、PTAなどの協力を得て通学路の安全点検を行い、危険箇所の把握に努めている。学校から提出された改善要望を基に、合同点検や対策を行い、安全確保に努めていく。